

陳 情 文 書 表

(行財政局)

受 理 番 号	2 7 0 8	受 理 年 月 日	令 和 4 年 2 月 2 4 日
件 名	公共施設の集約と利用料金値上げの中止		
要 旨	<p>いきいき市民活動センターやひと・まち交流館京都をはじめ、京都市の多くの公共施設は、2020年に新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言を理由に一時閉鎖されたことによって利用者の減少はあったが、現在もひと・まち交流館京都の予約開始日には70グループが抽選会に訪れ、予約の電話が混み合う状況であり、利用頻度や利用者数が大きく減少する状況ではない。より地域の人々に必要とされているのが現状である。</p> <p>誰もが公共施設を利用できることで地域の人々との交流を深め、文化、表現の自由な場として地域での役割を担い、そのことが職員の働きがいや意欲をいかすことにもつながっていると思われる。</p> <p>誰でも自由に利用できる公共のスペースは地域の人々のつながりを豊かなものにするために不可欠な役割を果たしている。京都市は財政破綻を理由に公共施設の集約と利用料金の改定を計画しているが、公共施設・スペースの地域社会における役割の原点に立ち戻るなら、集約や値上げではなく、もっと拡充し、人々のニーズに応えることが求められる。今回の計画を撤回していただくよう求める。</p> <p>私たちは引き続き職員の方々と一緒に、地域の人々との交流、文化・表現の場として取組を続けていく。</p> <p>ついては、公共施設の集約と利用料金の値上げを中止することを願う。</p>		
陳 情 者			
回付委員会	総務消防委員会		